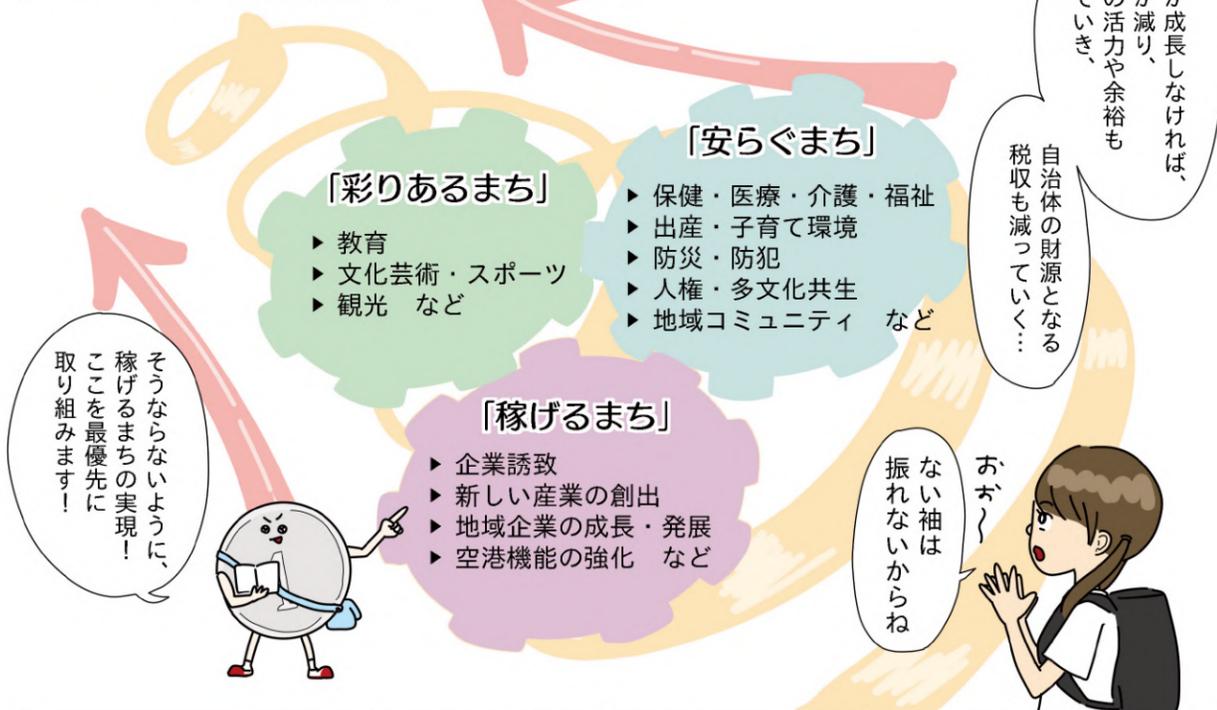


つながりと情熱と技術で、「一步先の価値観」を体現する、
グローバル挑戦都市・北九州市



でも、今北九州市には、明るい動きが出てきています!

耳かっぽぼじって聞いてくださいよ...?

2年連続で市税収入は過去最高を更新 (1,811億円)

UP!!

R2 R3 R4 R5

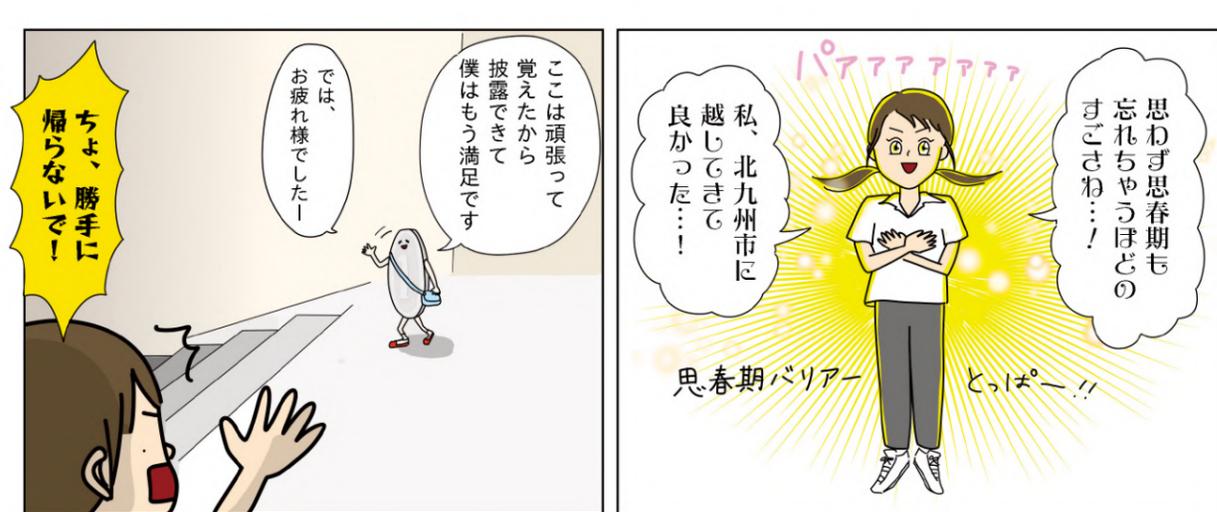
ふるさと納税の受入金額・件数が過去最高 (22,8億円・12万件)

5つの過去最高!

企業誘致における投資金額・件数が過去最高 (2,581億円・91件)

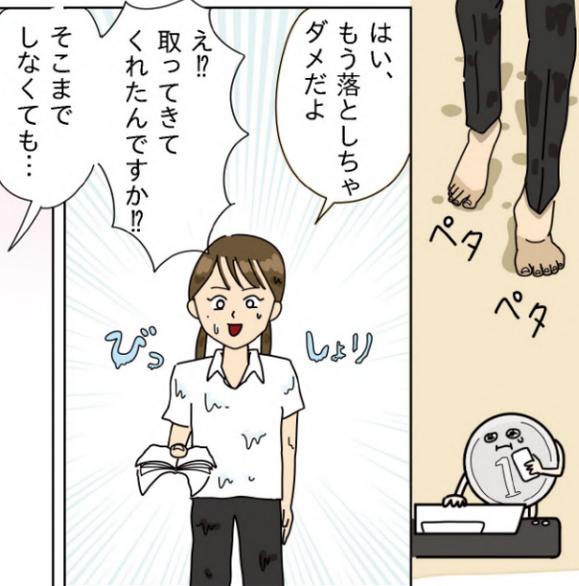
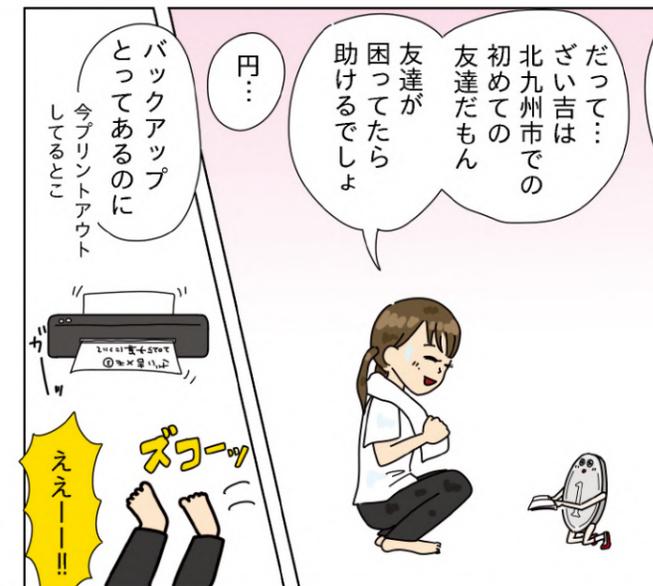
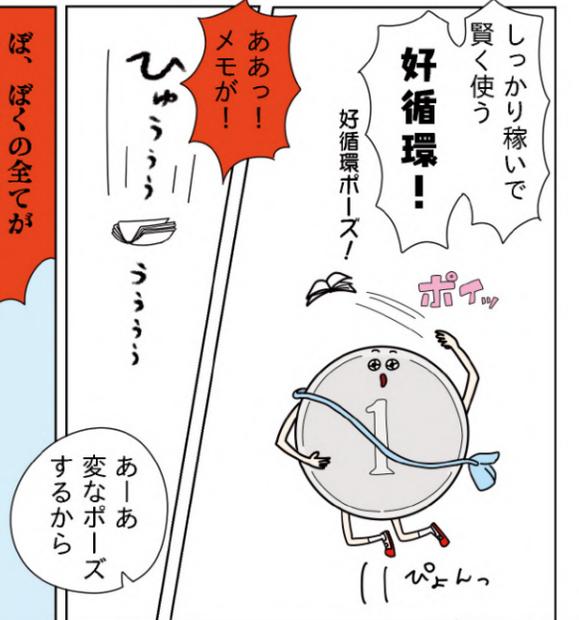
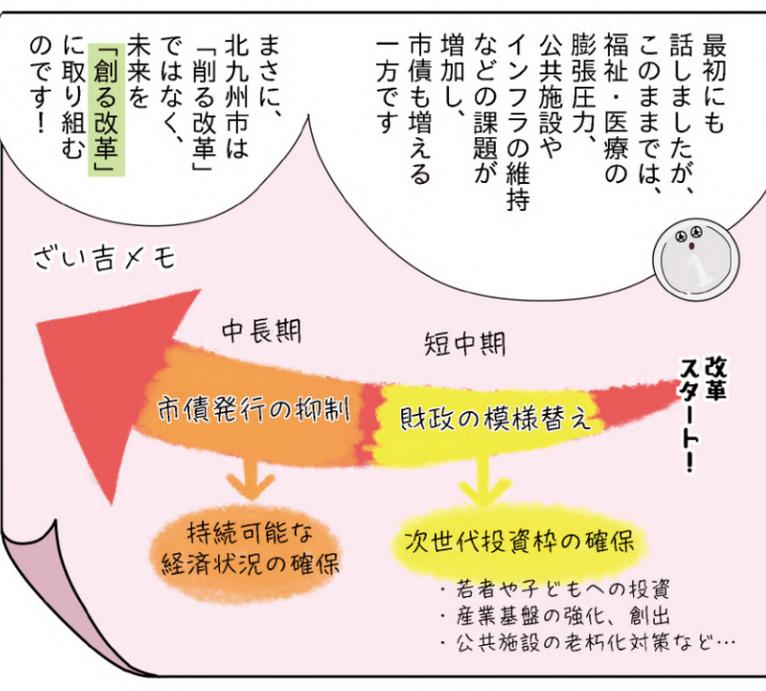
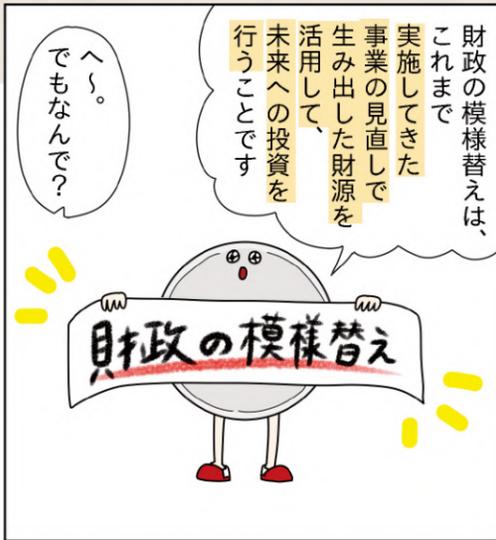
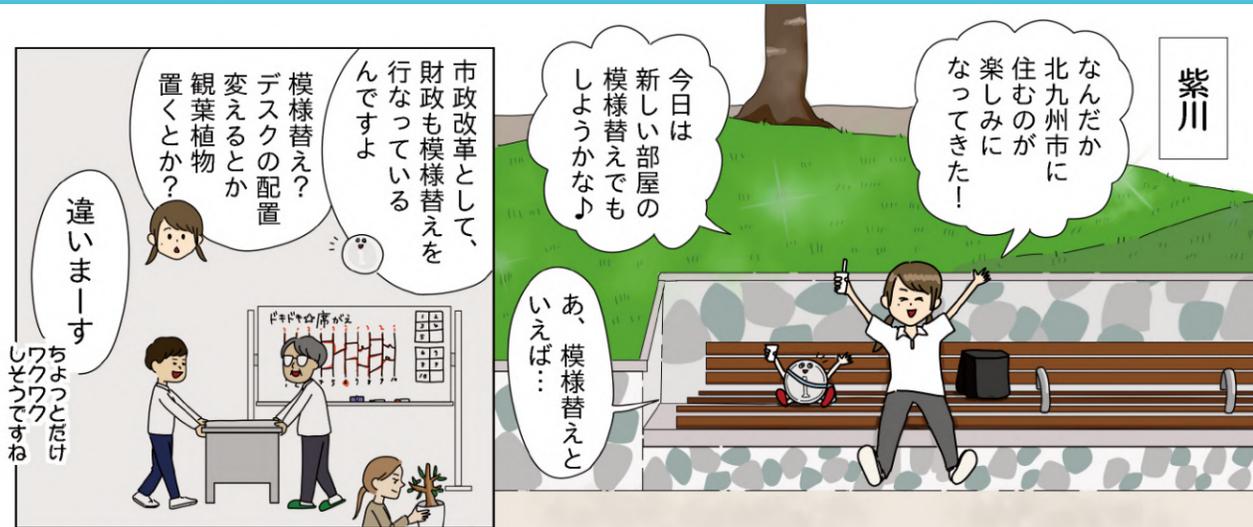
小倉城の入場者が再建直後を除き過去最高 (入場者26万人)

北九州港フェリー貨物量が過去最高 (5,040万トン)



成長に向けての取組み

成長に向けての取組み



※漫画上の演出です。むやみに川にはいけません。危険です

成長に向けての取組み

成長に向けての取組み



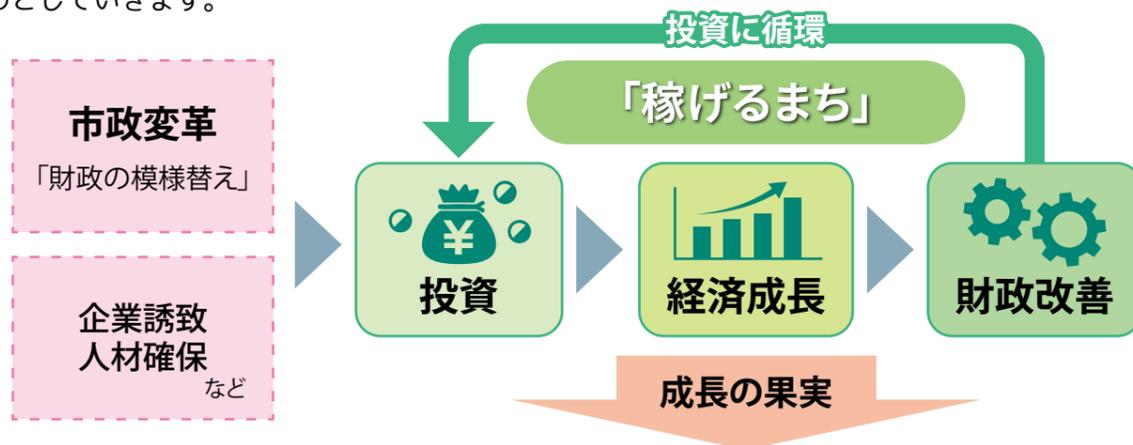
市政変革とは

市政変革の目的

社会経済情勢が変化する中においても、北九州市が都市としての魅力を高め続け、多くの人や企業を惹きつけていく都市として、「一步先の価値観」を体現できる都市であり続けられるよう、市民全体の叡智を集結して、行財政運営を再構築していきます。

未来を「創る改革」

市政変革の取組みは、もっぱら「削る改革」ではなく、未来を「**創る改革**」です。「変革」とは、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指すものです。そのために、これまで続けられてきた資源配分のあり方を見直し、新たな時代の要請に応えるものとしていきます。



「彩りあるまち」 文化、芸術、スポーツ、地域づくり

「安らぐまち」 医療、介護、子育て、防災、防犯

令和5年度取組み

北九州市政変革推進プランの策定

次世代への投資等を行いつつ、行財政運営のあり方を再構築する「市政変革」の取組みを進めるにあたり、市政変革の基本原則、見直しの視点、目標値、具体的な取組項目等を定めた計画を策定しました。

予算事務事業の棚卸し

各局等において、全ての予算事務事業（約3,000事業（令和5年度））を総点検し、市民ニーズや社会経済情勢の変化等の6つの視点を踏まえた見直しを実施しました。

令和6年度からの取組み

各局区による改革案磨き上げの場

X 会議

変革の本質に迫る テーマ設定



改革案の磨き上げに繋がる
報告・議論テーマを設定

各局区が主役の議論



各局区の主体的な
改革案の報告・討議

見える化の徹底

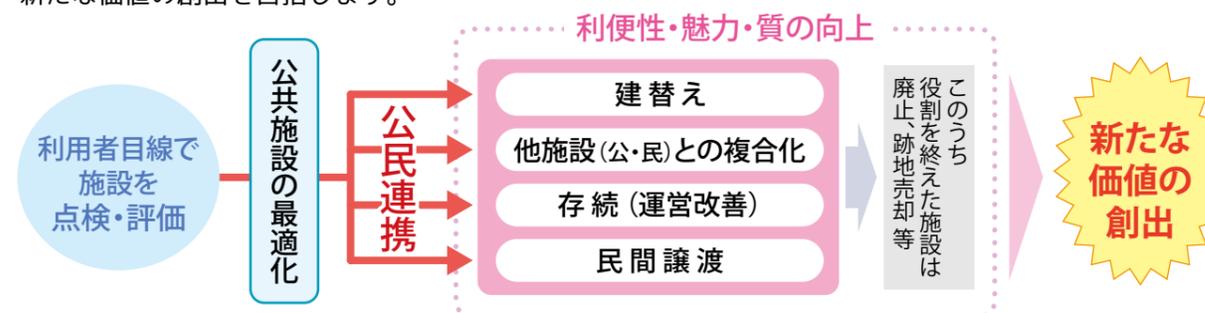


公開会議の開催、
資料・会議議事録の公表

【主な検討項目】

・公共施設マネジメント

各施設において「利用者目線」で点検・評価を実施し、公共施設の最適化に向けて検討を行います。最適化にあたっては、民間のノウハウを活用しながら施設の建替えや複合化、運営改善等を行い、新たな価値の創出を目指します。



・利用者目線での公共施設改善プロジェクト

公共施設における利用者目線での点検・改善の取組みとして、区役所及び文化施設での施設点検及び利用者ヒアリングと改善に向けた取組みを実施します。



・持続可能な公民連携体制

外郭団体を「管理団体」から、市の政策の一翼を担う「公民連携の重要なパートナー」として再定義し、各団体の持つポテンシャルを生かしながら、より良い市民サービスの提供を目指します。

